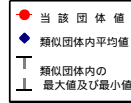


### (3) 市町村財政比較分析表(普通会計決算)

平成25年度

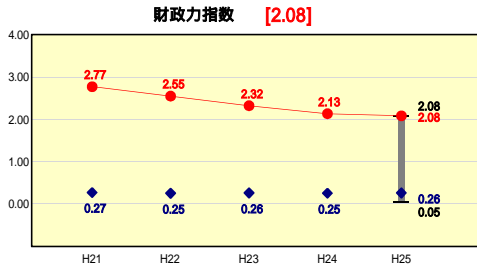
愛知県飛島村

人口	4,609	人(H26.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	4,436	人(H26.1.1現在)	連結実質赤字比率	-	%
面積	22.53	km <sup>2</sup>	実質公債費比率	1.7	%
歳入総額	5,176,953	千円	将来負担比率	-	%
歳出総額	4,747,162	千円	市町村類型	H21 - 2 H22 - 2 H23 - 2	
実質収支	263,953	千円	(年度毎)	H24 - 2 H25 - 2	
標準財政規模	4,296,095	千円			
地方債現在高	260,623	千円			



市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。平成26年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく(実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない)団体については、グラフを表記しない。充て可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。類似団体内平均値は、充て可能財源等が将来負担額を上回っている団体を含めた加重平均であるため、最小値を下回ることがある。「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費・物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。住民基本台帳関係年報の調査基準日変更に伴い、平成25年度の住民基本台帳人口については、平成26年1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口を記載している。

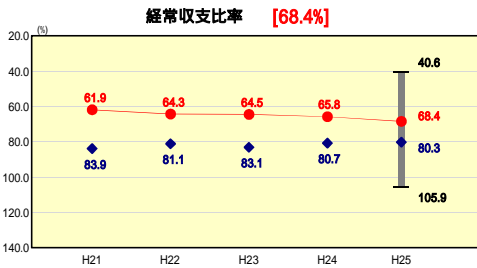
#### 財政力



**財政力指数の分析欄**

過去5年度にわたり低下傾向にあります。依然として高い数値となりまして、基準財政収入額を押し上げる要因として、本村地内には設備投資を活発に行う事業所が多く立地するため、類似団体を上回る税収があるということがあげられます。また一方で、大幅に人口が増えることがなかったこと、近年、新発債の発行を抑制してきたことが基準財政需要額を低くする要因となり、相対的に財政力指数は高い数値となっています。

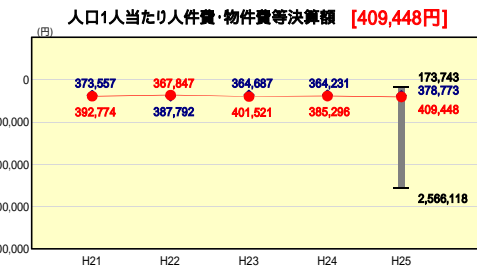
#### 財政構造の弾力性



**経常収支比率の分析欄**

平成25年度は、物件費が増加したこと等によって、若干数値が悪化しましたが、事務事業評価による事務事業の点検や見直しを行うことで、他の類似団体と比べても一定の良好な水準を維持しています。現時点の財政構造に硬直化が認められなくとも、本村は財政規模そのものが小さいため、サステナビリティの面で将来世代に健全財政を引き継いでいけるかという問題があります。そこで、さらなる経常経費の削減独力を続けるとともに、他の財政優良団体と情報を交換する等して、さらなる財政構造の健全化に努めています。

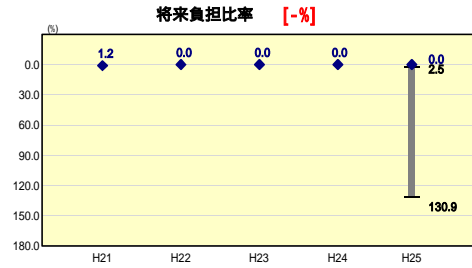
#### 人件費・物件費等の状況



**人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄**

小規模自治体であるため、人口1人当たりの数値は、どうしても悪化する傾向にあります。また、一般廃棄物処理業務や消防業務を一部事務組合で行っていますので、見かけ以上に人口1人当たりの人件費・物件費等は悪い状態といえます。したがって、住民サービスを維持しつつ職員を適正配置する等して定員管理を遵守するほか、委託業務を見直す等して人件費・物件費等を抑制することを目指します。

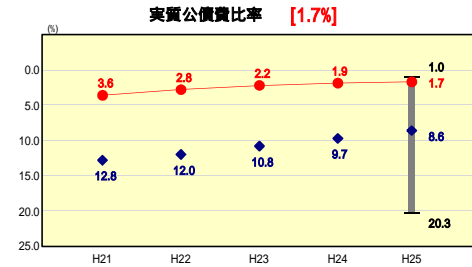
#### 将来負担の状況



**将来負担比率の分析欄**

近年、新発債の発行を抑制してきたため、地方債現在高が毎年度減少しています。また、過去4年度にわたり、充て可能財源等が将来負担額を上回り、将来負担比率の数値がありません。今後の財政運営においても、将来世代の負担を増やさないように努めます。

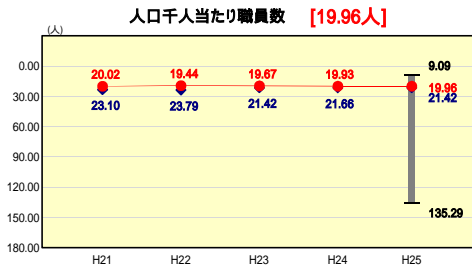
#### 公債費負担の状況



**実質公債費比率の分析欄**

本村では、将来世代の負担を鑑みて、極力、起債を抑制してきましたので、類似団体の中では低い数値となっています。今後も、この方針を維持し、起債に頼ることのない財政運営に努めます。

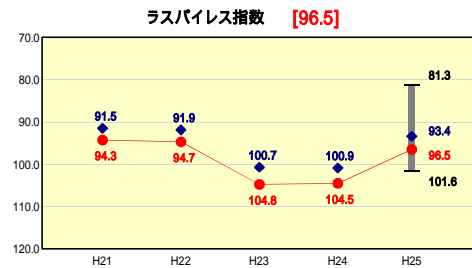
#### 定員管理の状況



**人口千人当たり職員数の分析欄**

小規模自治体にあっても一定の住民サービスを維持していくためには、ある程度の職員の確保が必要となります。本村においては、過去に定員削減を行い、類似団体と比較しても平均的な水準を維持していますが、一部事務組合の定員管理の問題もあります。そこで、今後は住民サービスを維持しつつ、さらなる職員の適正配置に努めることで現状の定員管理を維持していきます。

#### 給与水準(国との比較)



**ラスパイレース指数の分析欄**

国家公務員に準じた給与体系は、100を切ったものの、類似団体の平均値を上回る値となっています。小規模団体では、管理職の学歴等を受けやすく、ラスパイレース指数が高いからといって、必ずしも給与水準が高いものとはいえませんが、今後も人事評価制度を適切に活用することで、職員のインセンティブを高めながら、給与の適正化に努めます。